



東証プライム市場：5262

 **NIPPON HUME**  
日本ヒューム株式会社

# 2023年3月期第2四半期 決算説明会資料

2022年11月15日



# 目次

1. 会社概要
2. 2023年3月期第2四半期業績説明
3. 2023年3月期業績予想
4. 「21-23計画」における取り組み状況
5. その他トピックス

# 1

## 会社概要

# 日本ヒュームグループの事業概要

- 「社会基盤の整備に参加し、豊かな人間環境づくりに貢献する」を理念とした企業活動
- 連結子会社：8社、持分法適用関連会社：6社を含むグループで社会基盤の整備に貢献

## 下水道関連事業

- ヒューム管、セグメントなどコンクリート製下水道関連製品の製造
- PGF・壁高欄などコンクリート製道路関連製品、その他プレキャストコンクリート製品の製造
- 下水道関連の工事（管渠更生など）

<連結子会社>

- ・ 東邦ヒューム管株式会社
- ・ 日本ヒュームエンジニアリング株式会社

## 太陽光発電・不動産事業

- 不動産の賃貸、管理及び開発
- 発電および売電に関する事業
- 環境関連機器の販売及びメンテナンス

<連結子会社>

- ・ 株式会社環境改善計画
- ・ 株式会社ヒュームズ

## 環境・衛生システム(コンサル)

株式会社環境改善計画

- オゾン脱臭システム
- 環境（空気・水等）の浄化システム
- 環境・衛生コンサルティング

## 基礎事業



パイル施工



パイル製造

## 下水道関連事業



ヒューム管



RCセグメント



マンホール耐震化工事



壁高欄

## 太陽光発電・不動産事業



新橋NHビル



太陽光発電所

## 基礎事業

- コンクリートパイルの製造・販売
- コンクリートパイルの施工
- コンクリート製品用型枠の販売
- コンクリート製品用資材の販売

<連結子会社>

- ・ 技工曙株式会社
- ・ 株式会社エヌエイチ・フタバ
- ・ ニッポンヒュームインターナショナルリミテッド 他海外1社

## 鉄工・鉄筋

技工曙株式会社、株式会社エヌエイチ・フタバ

- 管路用・基礎用製品の型枠、及びその周辺部品

## その他事業

- レンタル事業

# 2

## 2023年3月期第2四半期 業績説明

# ① 連結損益計算書

(単位：百万円)	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期				2023年3月期 第2四半期計画		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比		金額	実績比	
					増減額	増減率		増減額	増減率
売上高	14,130	100.0	<b>14,861</b>	<b>100.0</b>	<b>+730</b>	<b>+5.2</b>	<b>15,000</b>	<b>△138</b>	<b>△0.9</b>
営業利益	644	4.6	<b>460</b>	<b>3.1</b>	<b>△183</b>	<b>△28.5</b>	<b>500</b>	<b>△39</b>	<b>△7.8</b>
経常利益	1,397	9.9	<b>1,408</b>	<b>9.5</b>	<b>+11</b>	<b>+0.8</b>	<b>1,200</b>	<b>+208</b>	<b>+17.4</b>
四半期純利益 (※)	1,137	8.0	<b>1,187</b>	<b>8.0</b>	<b>+50</b>	<b>+4.5</b>	<b>900</b>	<b>+287</b>	<b>+32.0</b>
減価償却費	323	—	<b>292</b>	—	<b>△31</b>	<b>△9.7</b>	—	—	—
設備投資	223	—	<b>320</b>	—	<b>+97</b>	<b>+43.5</b>	—	—	—

(※)親会社株主に帰属する四半期純利益

## ② 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2022年3月 期末	2023年3月期 第2四半期末
<b>流動資産</b>	26,925	<b>27,169</b>
(現金及び預金)	13,065	13,728
(棚卸資産)	3,311	4,197
<b>固定資産</b>	25,196	<b>25,440</b>
(有形固定資産)	9,278	9,301
(無形固定資産)	176	192
(投資その他の資産)	15,741	15,947
<b>資産合計</b>	52,121	<b>52,610</b>

(単位：百万円)	2022年3月 期末	2023年3月期 第2四半期末
<b>流動負債</b>	11,489	<b>11,649</b>
(短期借入金)	982	1,035
<b>固定負債</b>	3,696	<b>3,613</b>
<b>負債合計</b>	15,186	<b>15,262</b>
<b>株主資本</b>	35,551	<b>36,184</b>
(自己株式)	△2,345	△2,379
<b>純資産合計</b>	36,935	<b>37,347</b>
<b>負債・純資産合計</b>	52,121	<b>52,610</b>

### ③ 2022年3月期第2四半期業績総括 (連結)

- 受注環境の激化と原材料価格上昇による利益下押し
- 基礎事業では、民間設備投資の回復基調に伴う増収増益

【売上高】 連結売上高 14,861百万円 前期比+730百万円 +5.2%

基礎事業	9,416百万円	+ 496百万円 + 5.6%	● 需要の回復下支えによる増収
下水道関連事業	4,690百万円	+ 232百万円 + 5.2%	● 防災関連製品の堅調推移で増収
太陽光発電・不動産事業	732百万円	+ 7百万円 + 1.1%	
その他事業	20百万円	△ 6百万円 △ 23.9%	

【営業利益】 連結営業利益 460百万円 前期比△183百万円 △28.5%

基礎事業	197百万円	+ 60百万円 + 44.5%	● 売上増加に伴う増益
下水道関連事業	634百万円	△ 191百万円 △ 23.2%	● 製品受注構成を要素とする減益
太陽光発電・不動産事業	426百万円	+ 16百万円 + 4.0%	
その他事業	14百万円	△ 7百万円 △ 32.2%	

(注) 営業利益には、調整額△812百万円は含まれておりません。



# 3

## 2023年3月期業績予想

# 2023年3月期業績予想

- 民間投資下振れリスクがある中、基礎事業では公共構造物や物流倉庫関連で、下水道関連事業では引き続き防災関連の高付加価値製品で売上を見込む
- 原材料価格高騰の中、売価適正化が課題

(単位：百万円、%)

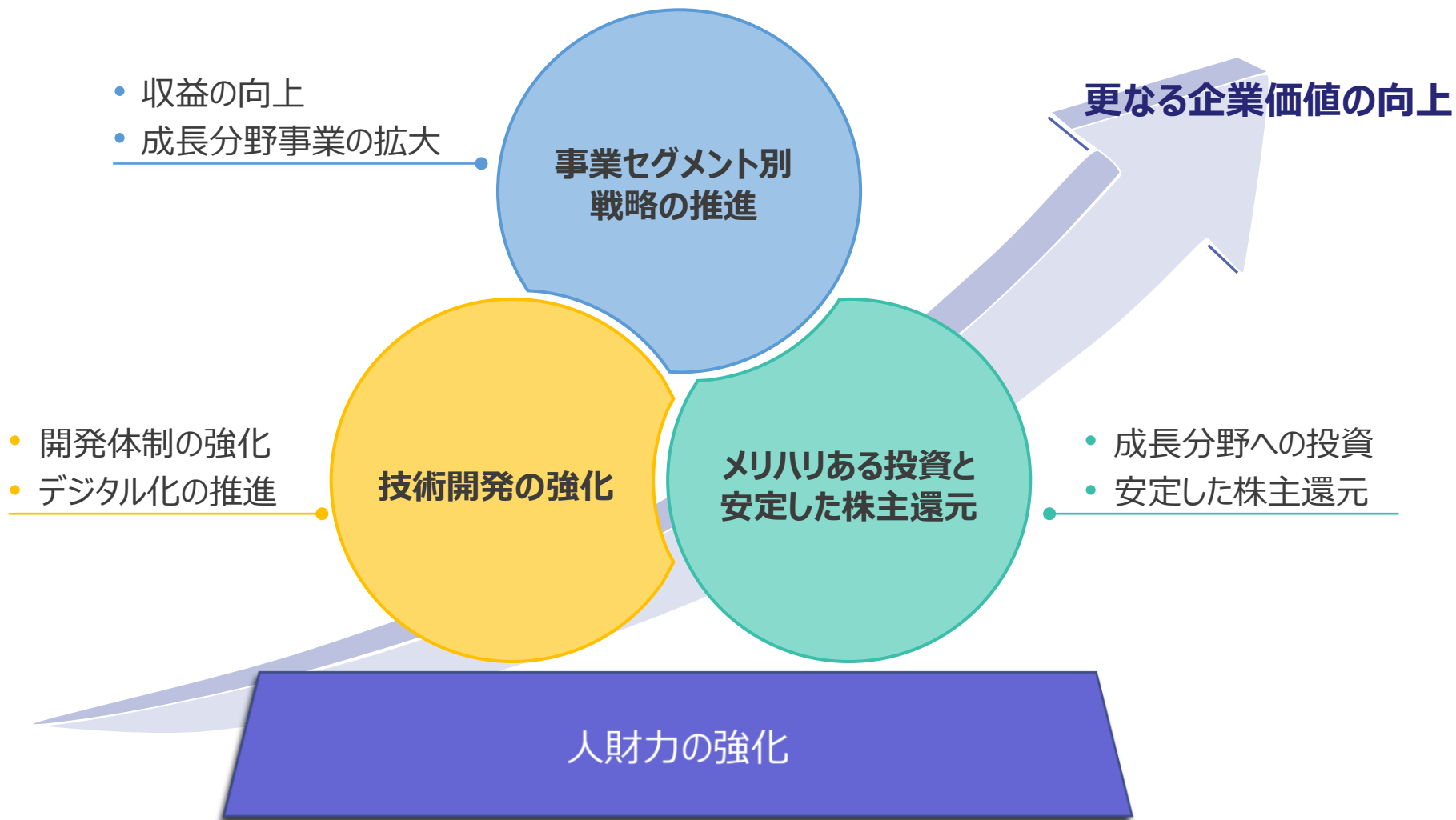
	2022年3月期		2023年3月期予想			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	
					増減額	増減率
売上高	29,501	100.0	<b>32,000</b>	<b>100.0</b>	<b>+2,498</b>	<b>+8.5</b>
営業利益	1,449	4.9	<b>1,600</b>	<b>5.0</b>	<b>+150</b>	<b>+10.3</b>
経常利益	2,526	8.6	<b>2,500</b>	<b>7.8</b>	<b>△26</b>	<b>△1.1</b>
当期純利益(※)	2,136	7.2	<b>1,800</b>	<b>5.6</b>	<b>△336</b>	<b>△15.7</b>

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

# 4

## 「21-23計画」における取り組み状況

# 基本戦略



# 社会問題への当社の取り組み

## 課題

- ✓ 激甚化する風水害
- ✓ 大規模地震
- ✓ 社会インフラ老朽化
- ✓ 建設技能者不足
- ✓ エネルギー問題
- ✓ 温暖化

## 対策

- ✓ 防災・減災対策
- ✓ 耐震化対策
- ✓ 老朽対策
- ✓ 省力化
- ✓ 再生可能エネルギー
- ✓ 脱炭素

日本ヒューム株式会社の取り組み  
『総合コンクリート、主義』

- ✓ 管路・貯水製品群
- ✓ 基礎、耐震化工法
- ✓ 更生工法
- ✓ プレキャスト化
- ✓ 洋上風力部材
- ✓ 環境貢献材e-CON



# 防災・減災対策

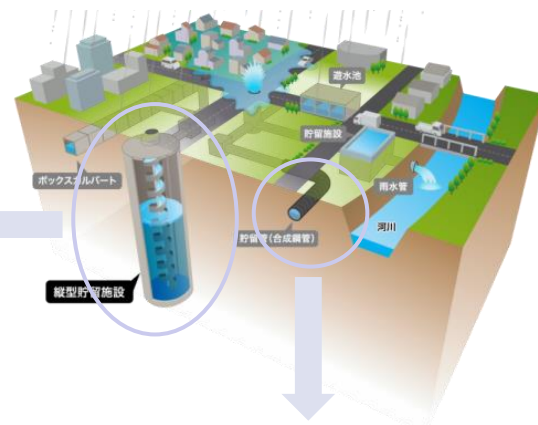
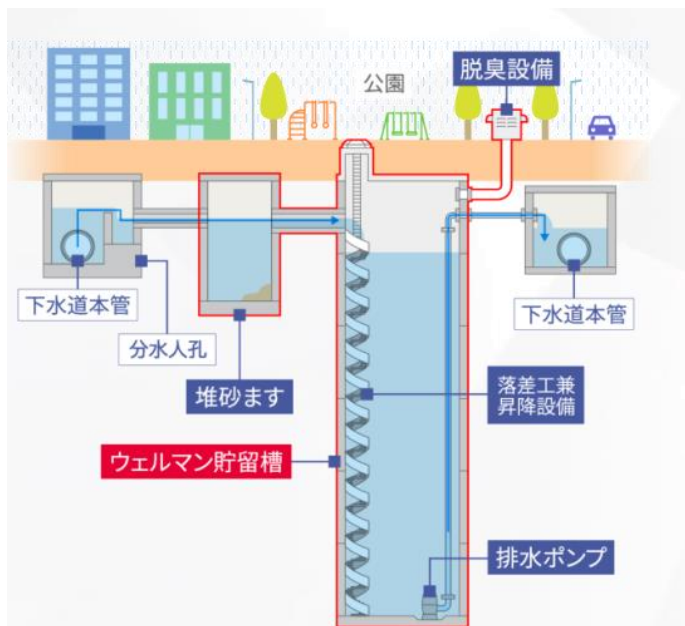
➤ 対策が急がれる都市型浸水製品への製品ラインアップを拡充

## ウェルマン貯留槽

ゲリラ豪雨の発生に伴う内水氾濫への対策

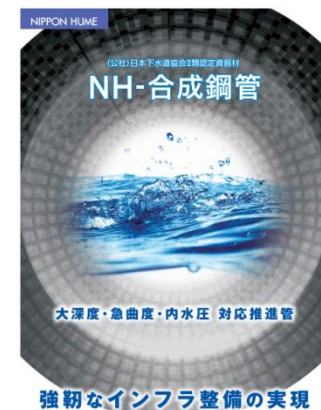
【特調】

- ① 短期間での施工
- ② 狭隘地及び近接地施工が可能
- ③ 貯留施設のパッケージ化



## 合成鋼管（1種、2種、5種、6種の追加）

設計条件に合わせて管種（1種～6種）を選定でき、合理的な設計が可能に

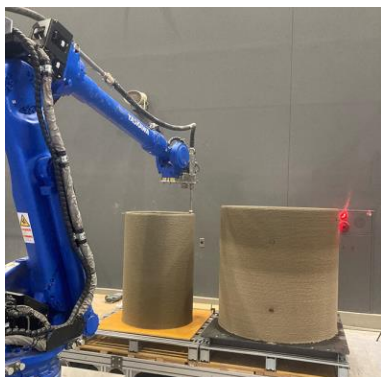


# 省力化（建設技能者不足）

## ➤ 建設現場の技能者不足や生産性向上に応え、ICT化への対応

- コンクリート製品製造における省力化の取り組み
- 杭施工におけるDX化の推進

### 3Dプリンターによる プレキャストコンクリートブロックの製造研究



写真：  
大林組リリースより

株式会社大林組（本社：東京都港区、社長：蓮輪賢治）は、セメント系材料を使用した3Dプリンターによる外殻製造技術と、コンクリートの吹き付けまたは流し込みをロボットにより行う技術を用いた、コンクリート構造物の自動化施工システムを開発しました。

また、本技術を適用し、日本ヒューム株式会社（本社：東京都港区、社長：大川内稔）とプレキャストコンクリートブロックの製造に成功しました。

大林組プレスリリースより（2022.7.12）

### 杭施工管理のDX （杭施工管理システムの進展）

次世代杭施工管理装置「パイルヴィムシス」による  
管理の向上

- ▶ 杭工事における施工時間の短縮が実現  
業界をリードする施工管理システムを目指す



#### 【パイルヴィムシス】

- タブレットによる遠隔施工管理が可能
- タブレットによるリアルタイムの品質管理
- 安全性・施工効率化の向上

#### 【機能の強化進捗】

- 帳票作成機能の拡充
- タブレット操作機能の強化

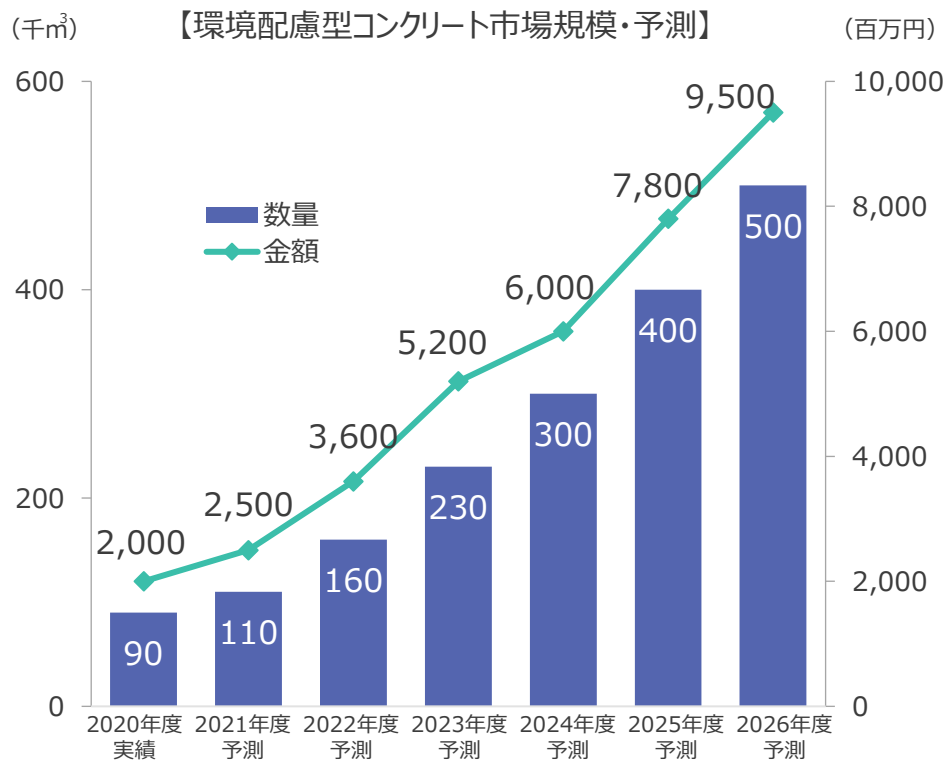
# 脱炭素

## 環境に配慮した脱炭素製品の提供

### 脱炭素社会

環境省は「コンクリート・セメント産業はカーボンリサイクルの重要分野」として位置づけているほか、国土交通省はCO2排出削減コンクリートにかかる技術開発を推進しています。

2026年度までの環境配慮型コンクリート市場予測では、50万m<sup>3</sup>、125万tの市場が予測される。



出所：日本能率協会総合研究所・マーケティング・データ・バンク推定

## 環境配慮型コンクリート「e-CON®」の開発

◆ e-CON®は、今年度の技術審査証明（遠心力製品）の取得に向けて審査申請済み。

- 【特性】
- ① CO<sub>2</sub>排出量を8割減
  - ② 耐塩害性能トップクラス
  - ③ 耐酸性能トップクラス

環境貢献コンクリート（e-CON®）CO<sub>2</sub> 80%削減

e-CON®  
(イーコン)

特許第6796743号



CO<sub>2</sub>排出量の比較

100%



普通コンクリート

20%



e-CON



# 成長分野事業（インフラ老朽化、建設技能者不足）の拡大

## ➤ 建設現場の技能者不足や生産性向上に応え、プレキャスト化の促進

- 生産性向上……国土交通省は中型、大型の土木構造物を対象に、プレキャスト製品の導入を促進しています。
- 技能者不足による工事現場の生産性向上、工期の短縮、高品質、狭隘地などの厳しい施工条件での課題を背景に需要の増加が見込まれます。

### PCウエル

広島駅高架橋工事で現場打を予定していた橋脚工事について工期短縮などの優位性を示しプレキャスト製品のPCウエルが採用。



【PCウエル施工】



出所：広島市ホームページより

【完成予想図】

### プレキャスト製品化



# 技術力の強化

## ➤ 機構改革による技術力強化

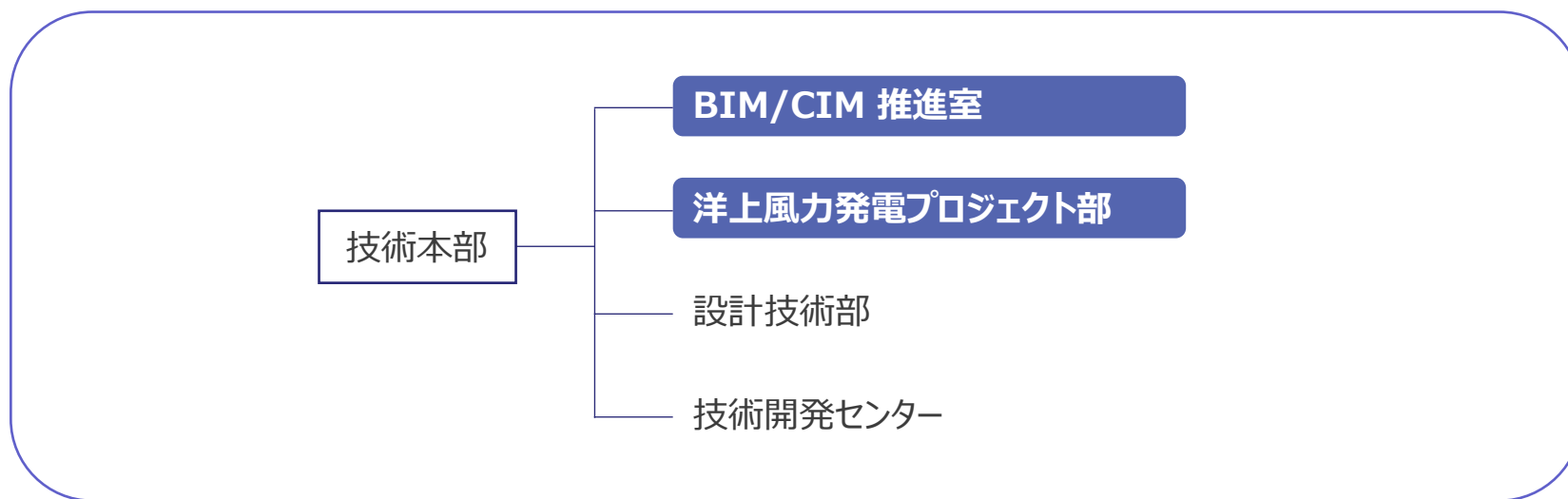
- 部署の新設……機構改革による研究開発のスピード化、新規開発の強化

### 【BIM/CIM推進室の新設】（11月1日）

取引先における設計、施工、管理等の各段階において情報を共有し、効率的で質の高いプレキャスト製品及び施工管理を提供し、かつ、自社内の製品設計、製造、管理等における生産性向上を図る

### 【洋上風力発電プロジェクト部の新設】（4月1日）

洋上風力発電事業におけるプレキャスト製品市場の創出、実用化に向けた技術開発の強化



# メリハリのある投資と安定した株主還元①

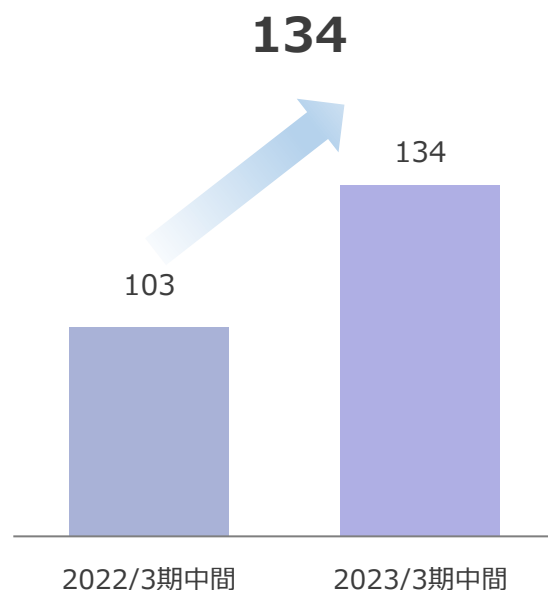
## ➤ 研究開発費・設備投資

- 研究開発の強化とスピードアップに傾注
- 工場設備の増強による効率化の向上、プレキャスト製品工場へのチャレンジ

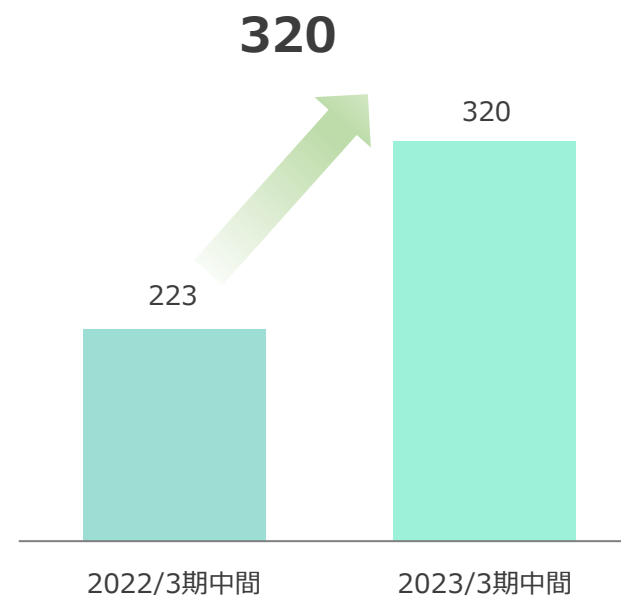
【2023年3月期第2四半期実績】

(単位：百万円)

### 研究開発費



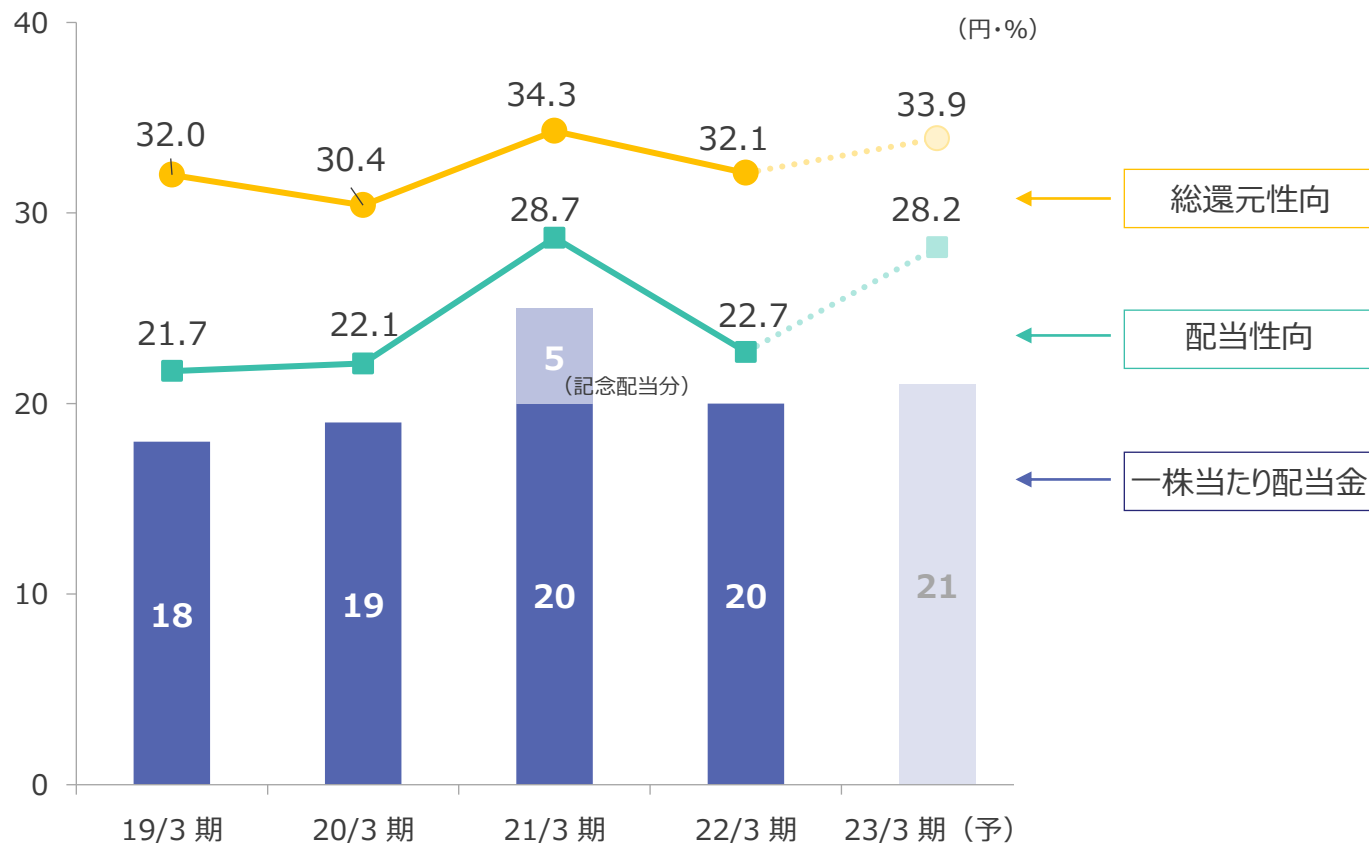
### 設備投資額



## メリハリのある投資と安定した株主還元②

### ➤ 安定した株主還元

- 前期比 1 円増配の21円を予定
- 自己株式の取得（上限：総額 1 億円、総数12.5万株）



(注) 21/3期には、95周年記念配当の5円が含まれます。

# 4

## その他トピックス

# その他トピックス①（人財力の強化、技術開発の強化）

## ➤ 各種学会への発表

### ● 学会の場で研究成果を発表

#### 【76<sup>th</sup> RILEM Annual Week 2022 and ICRCs 2022 (Kyoto)】

- Fundamental Study on Highly Acid-Resistant Concrete Pipes by Centrifugal Molding

#### 【土木学会年次学術講演会（9/15~16）】

- シース管を有する薄肉部材における超高強度繊維補強コンクリートの繊維配向性の検討
- 超高強度繊維補強コンクリートを用いた円筒断面の正負交番曲げ試験
- 壁高欄用充填モルタルの流動性・材料分離抵抗性・充填性の評価
- シールドトンネルセグメントのリング継手開発



【優秀講演者を受賞】

## その他トピックス②

【下水道展】

### 下水道展2022東京に出展・オンライン展へ参加

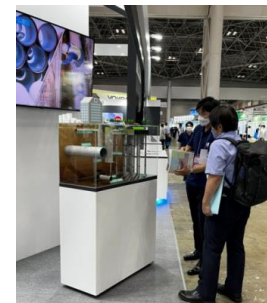
[テーマ]

コンクリートテクノロジーによる社会的課題のソリューション

期 間 : 2022年8月2日～5日  
(オンライン展: 7月26日～8月19日)

会 場 : 東京ビックサイト

P R 製 品 : ウェルマン貯留槽、合成鋼管、バルブボックス、  
e-CONほか



【社内イベント】

### 社内技術発表会の開催

事業拡大や成長戦略の核となる  
新技術、新製品の開発について  
社内発表会を開催  
(2022年10月20日実施)



### 学生との交流

熊谷工場で学生さんにコンクリートの  
試験練りの様子を見てもらいました。  
(2022年7月21日実施)



### 【将来に関する記述等について】

本資料は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

今後、実際の業績は、金融市場の動向、経済の状況、競合の状況や地価の変動の他、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

### 【数値表記について】

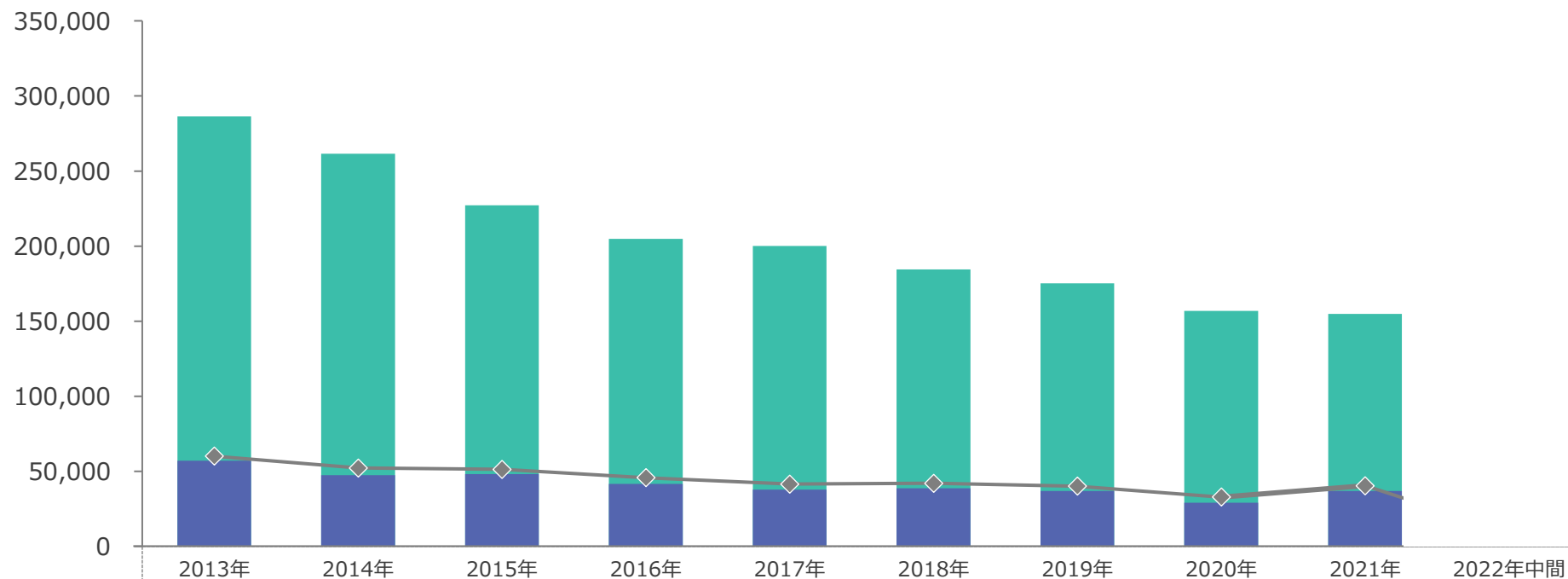
百万円未満は切り捨てで表示しております。そのため、一部合計数値が一致しないところがございます。



# 参考資料

# 業界データ（下水道関連事業）：ヒューム管需要推移

(単位：ton)

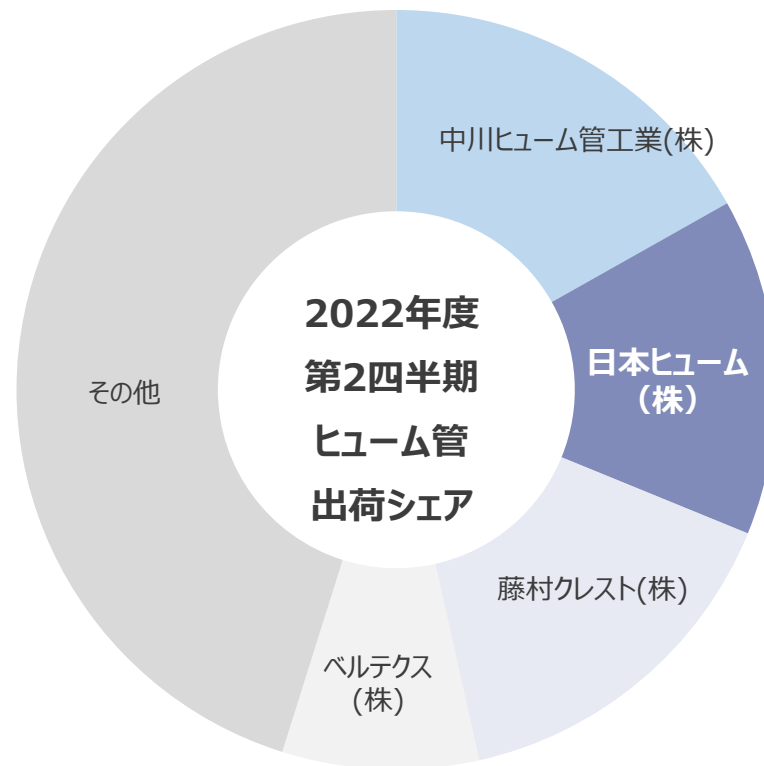


	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年中間
■ 全国	286,538	261,630	227,203	204,896	200,138	184,450	175,235	156,840	154,962	61,558
■ 日本ヒューム	57,073	47,440	48,143	41,716	37,864	38,818	36,941	29,071	36,862	8,475
◆ 日本ヒュームGr	60,135	52,219	51,315	45,747	41,480	42,023	40,148	32,914	40,474	9,432
日本ヒュームGrシェア率	21.0%	20.0%	22.6%	22.3%	20.7%	22.8%	22.9%	21.0%	26.1%	15.3%

(出典：全国ヒューム管協会資料より算出)

# 業界データ（下水道関連事業）：2022年度第2四半期ヒューム管出荷実績

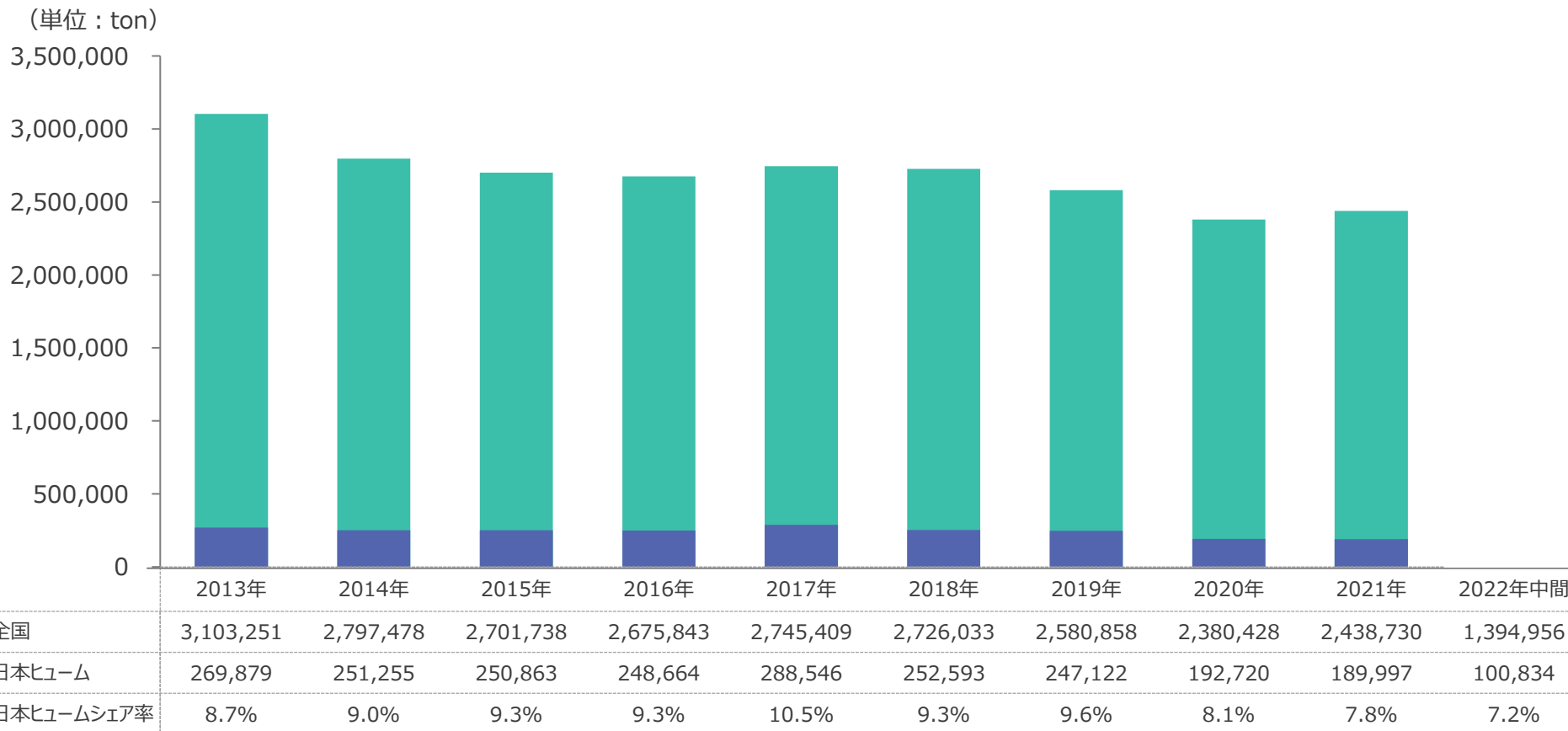
	会社名	出荷量 (ton)	シェア	前年 同期比
1	中川ヒューム管工業(株)	10,361	16.8%	+0.6%
2	<b>日本ヒューム(株)</b>	<b>9,432</b>	<b>15.3%</b>	<b>-9.1%</b>
3	藤村クレスト(株)	8,830	14.3%	+6.5%
4	ベルテクス(株)	5,146	8.4%	-2.1%
	その他	27,789	45.2%	-
	合計	61,558	-	-



※日本ヒューム(株)の数値は、持分法適用会社である  
東京コンクリート工業(株)（株式40%保有）の数値を含みます

（出典：全国ヒューム管協会資料より算出）

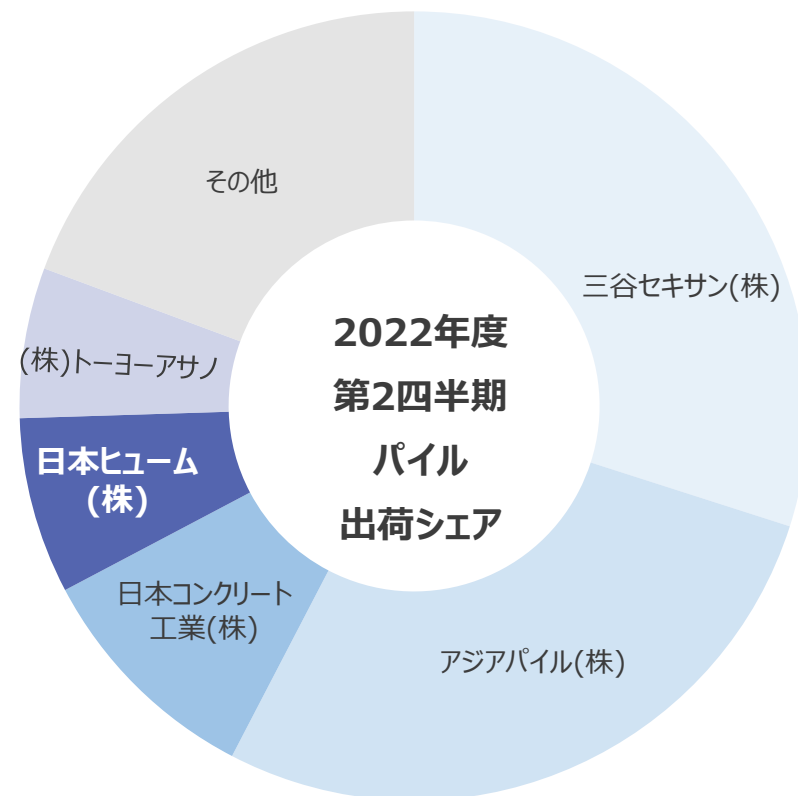
# 業界データ（基礎事業）：パイル需要推移



(出典：コンクリートパイル・ポール協会資料より算出)

# 業界データ（基礎事業）：2022年度第2四半期パイル出荷実績

会社名	出荷量 (ton)	シェア	前年 同期比
1 三谷セキサン(株)	417,577	29.9%	-0.1%
2 アジアパイル(株)	386,373	27.7%	+0.2%
3 日本コンクリート工業(株)	134,505	9.6%	+3.1%
<b>4 日本ヒューム(株)</b>	<b>100,834</b>	<b>7.2%</b>	<b>-2.0%</b>
5 (株)トーヨーアサノ	85,956	6.2%	-1.8%
6 前田製管(株)	40,467	2.9%	+0.2%
7 マナック(株)	42,808	3.1%	+0.4%
8 日本高圧コンクリート(株)	26,272	1.9%	-0.4%
その他	160,164	11.5%	+0.5%
合計	1,394,956	-	-



(出典：コンクリートパイル・ポール協会資料より算出)